

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
TEL093-331-6395(交通部安全対策課)

第184号 令和4年7月号



BACKNUMBER (二次元コードは右側をご利用ください。)

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_zen_report/

台風接近に注意！早めに対策を取りましょう

【事件事例】台風により小型船舶が流出

所有者は台風が接近する前に船舶の係留状態を確認したが、台風による風の影響を軽く考え、係留索の増強を実施しなかった。台風通過後、所有者は船舶の係留状態の確認に向かったところ、船舶が見当たらず、係留索が切れていたことから、沖に流出したと思い、海上保安庁緊急通報用電話番号「118番」へ通報した。所有者が周囲を捜索したところ、係留場所の対岸に漂着していた船舶を発見し、自力航行にて係留しなおしたものの。

流出防止対策

● 台風の影響を受ける前に**船体の安全**を次のとおり確保しましょう

・係留索の増強

係留索の増し取りや、風向き、潮汐を考慮した調整を行いましょう。また、係留索が劣化していれば、係留索を交換又は補修し、岸壁等に擦れが生じる箇所には、擦れ当てを取り付け、補強する等対策をしましょう。



・係留場所の移動

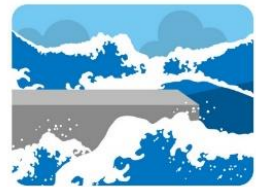
台風により風潮流の影響を大きく受けそうな場合は、影響の少ない港などに移動させるか、可能であれば、安全な場所への陸揚げを検討しましょう。陸揚げしても、風の影響で海上に流出することもあるので、しっかりと固定しましょう。

・沈没にも注意

台風による雨、入り込んだ海水が船内に溜まり沈没する可能性があるため、船倉等の開口部を閉鎖をしましょう。また、船内にゴミがあると排水口(ドレン抜き)を塞ぎ、雨水等が排水出来なくなる可能性があるため、船内の清掃を行いましょう。

・最新の気象情報を入手しましょう

ニュースや新聞等から常に最新の気象情報を入手し、荒天が予想される前に備えを万全にしましょう。台風から離れた地域でも雨風に注意が必要です。また、第七管区海上保安本部では、海の安全情報メール配信サービスで台風接近情報等もお知らせしていますので、ぜひ登録してみてください。



荒天になってから海に近づくのは大変危険です。早めに流出防止対策を講じましょう

「海の安全情報」緊急情報配信サービス

<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>



「海の安全情報」携帯電話用サイト

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>



「海の安全情報」スマートフォン用サイト

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



スマートフォン用サイト



流出防止対策作業時の注意事項

作業等を行う場合は、**海中転落**に備え、必ず**救命胴衣**を着用し、**複数名での作業**を心がけましょう。また、強風や大雨が予想される場合は、早めに対策をしましょう。